

有機農業推進総合対策のうち有機農産物安定供給体制構築事業
(産地間・自治体間連携支援事業のうち流通技術課題対応実証支援事業)

令和4年度農水事業 有機農産物物流効率化事業報告書

2023年3月22日

一般社団法人 日本有機農産物協会

有機農産物の宅配便出荷から共同配送による集約化と物流費削減を目指す

共同物流構築の課題

- ①産地における集荷物流の構築が困難
- ②首都圏を中心とした消費地向けの基幹物流情報が事業者間で共有されていない
- ③首都圏内の配送便物流も公開されていない。

課題解決手法

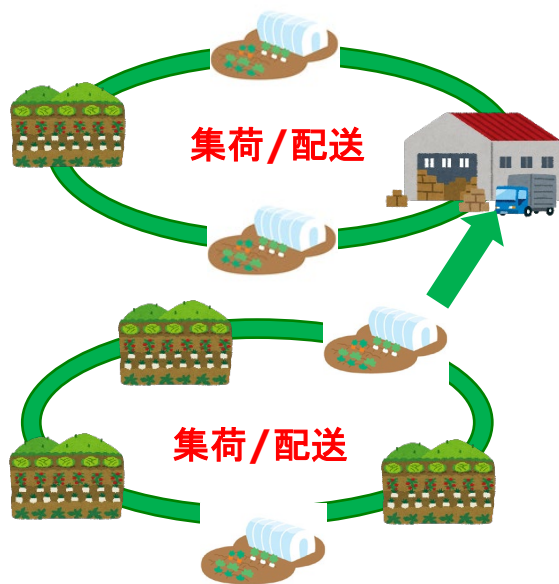
- ①生鮮青果物と加工食品の共同物流
- ②既存取引のある事業者間連携による共同物流
- ③首都圏小売集荷センターの汎用化

成果目標

- ①産地の農産物の集出荷取りまとめ等による、令和2年度の農業者の物流コストからの削減率 10%以上
- ②流通技術課題の実証に参画する有機農業者数 30 名以上
- ③本実証事業の成果の普及への参加人数 50 名以上（セミナー参加者）

共同物流を構築する為には小規模である有機生産者の「地域内集荷」と首都圏向け「基幹物流」、「首都圏における配送」の3つの物流が必要である。

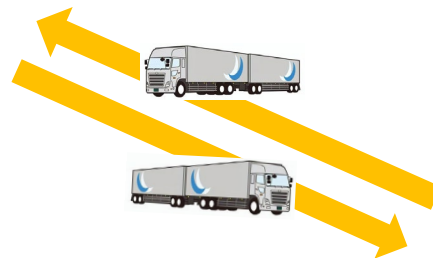
地域内集荷物流



ポイント

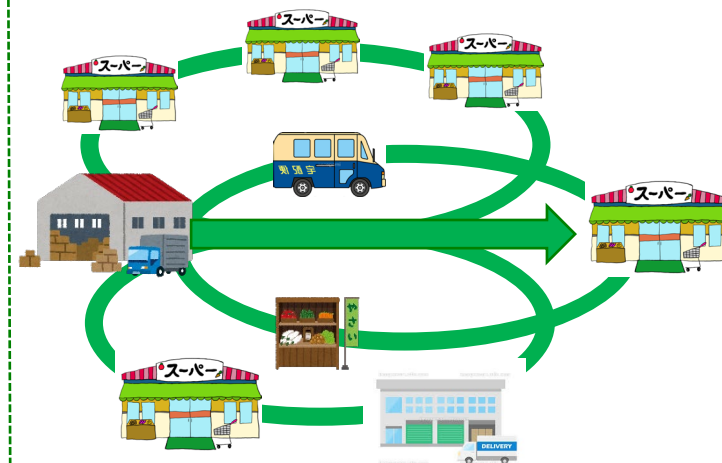
事前に作付/出荷計画を取引先とたてる。出荷直前に天候により変動する収穫数の情報を共有することで共同物流による効率的集荷を可能にする。

基幹共同物流



中央卸売市場向け等首都圏向けの便が無い産地は中継地にて転送便に積み替える必要があり複数の物流事業者による組み合わせが必要

首都圏配荷物流



配荷物流は事業者が保有する「専用センター納品」と直接店舗に納品する2種類がある。商材により首都圏近郊でリパック/仕分が必要な商材があり輸送形態がさまざまである。

消費地から離れている有機農業産地から首都圏への物流効率化の取り組み

- 有機農産物だけでは積載効率が低く便を組み立てることが困難
- 既存便/有機農産物以外の商品との共同物流化を検討
- 地域内事業者へのアンケート調査による共同物流のニーズ調査の実施

島根県有機農産物と加工品との共同物流検証

【活動施策】

- ① 島根県内事業者への共同配送の働きかけ
- ② 既存島根-首都圏物流事業者へのアプローチ
- ③ JA物流の活用 転送拠点（関西）便の活用

既存物流の活用を含めたルートの開拓を実施



物流構築を**物流事業者**に依頼し、物流事業者間ネットワークを活用
物流事業者による**転送便の組み立て**による「転送ルート」の構築

首都圏配送物流構築

既存の物流センターの汎用化

物流事業者の神奈川県本厚木センターから有機農産物事業者の納品先229か所へ配送便がある(右図)

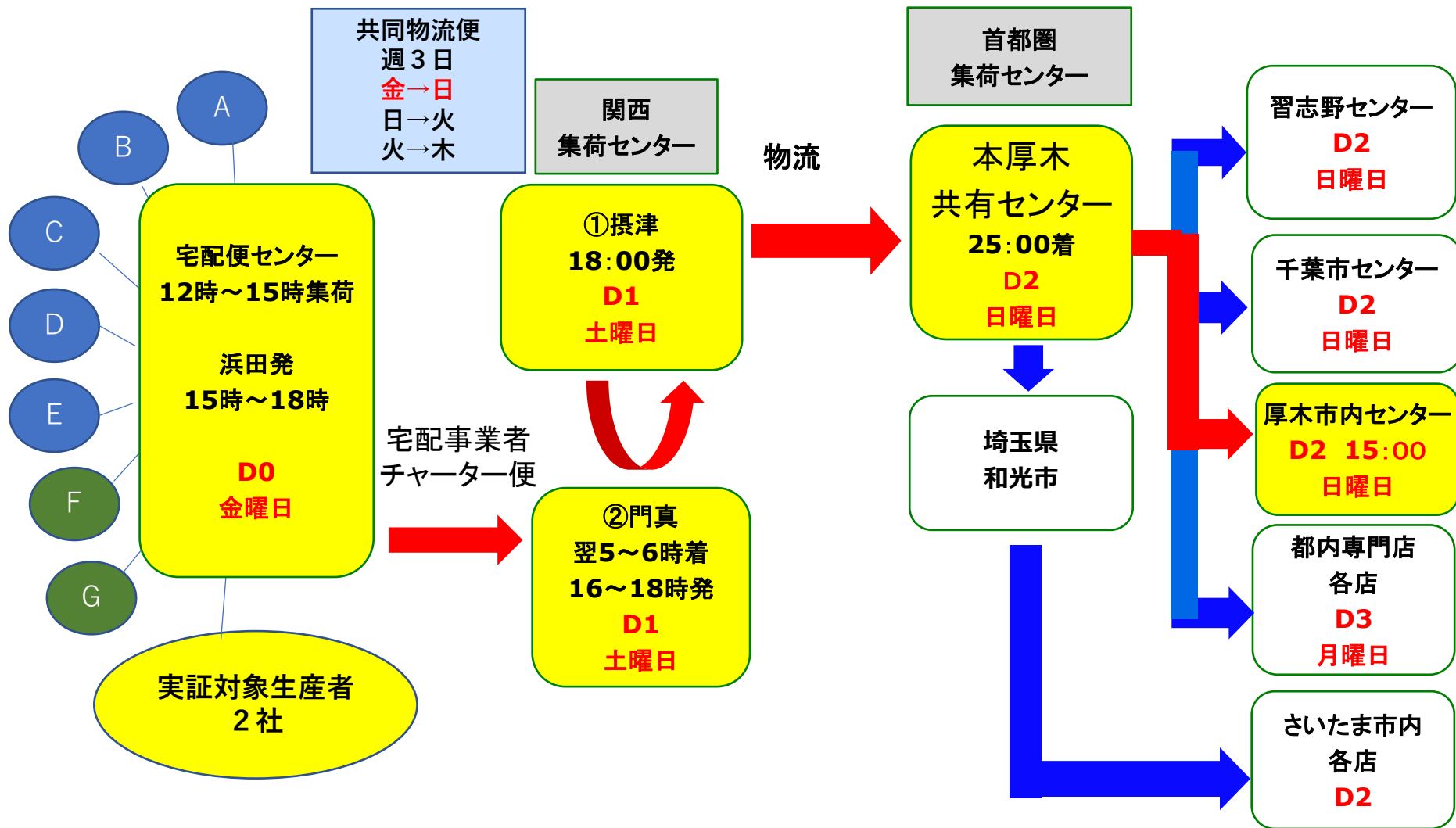
島根県から「宅配便で出荷」している生産者の商品を共同物流により本厚木センターに納品し既存の配送便で各納品先へ届ける実証を実施した

**物流情報の公開
見える化**

本厚木センターから首都圏向け配送網



島根～関西経由で本厚木までの転送便を構築した





転送商品の着荷時の品質を宅配便と比較し取引において支障が無いことを確認した



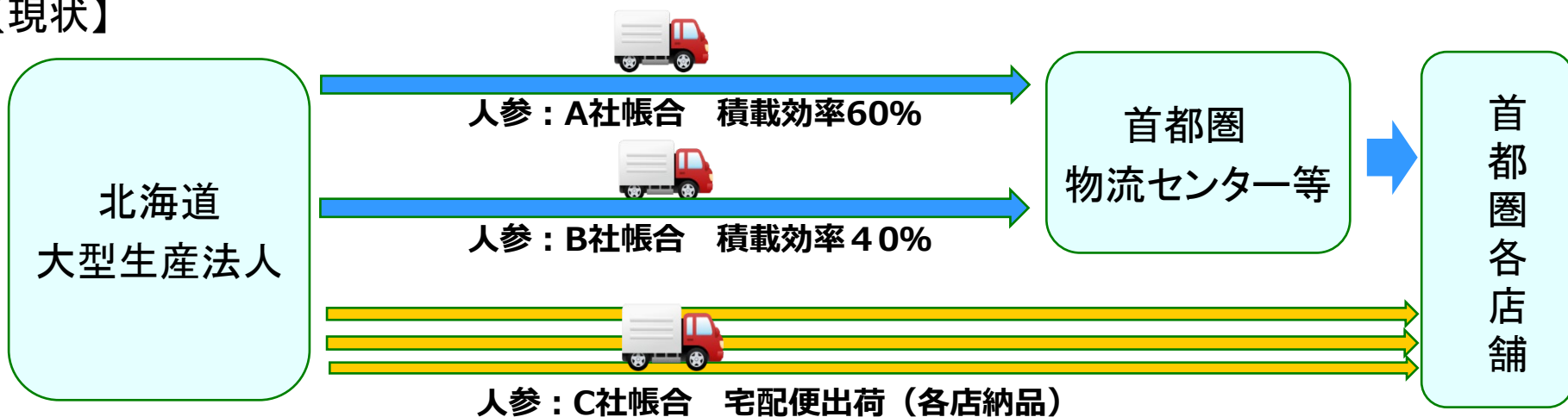
北海道の有機農産物物流課題

- モーダルシフトが進み、鉄道による「コンテナ物流」が進められてきた。
- 鉄道による物流課題が認識されてきた。
 - ・ 夏季に休みがあり欠便になる
 - ・ 風・水害に弱く欠便が発生する
 - ・ 経営難から廃線になる路線が発生してきた
- 新たな輸送手段の開拓が必要となり、大型トレーラーによる集約物流のニーズが高まっている。
- 青果卸各社は北海道産の単品大型商材の生産計画に基づく調達計画をたてるが、天候不順により作柄が悪いと計画が未遂となる。商材の奪い合いが発生する。
- 北海道の大産地による有機野菜のうち根菜類は産地ではなく消費地で「リパック」「小分け」することが通例である。その為、本州に原料を移送し保管しながら出荷していく。その為、ロット輸送が可能であり共同物流化の効果がしやすい商材が多い。



個別完結型の有機農業生産者別の個別集荷/出荷を共同物流化する ～本州向け複数の有機青果卸の物流集約～

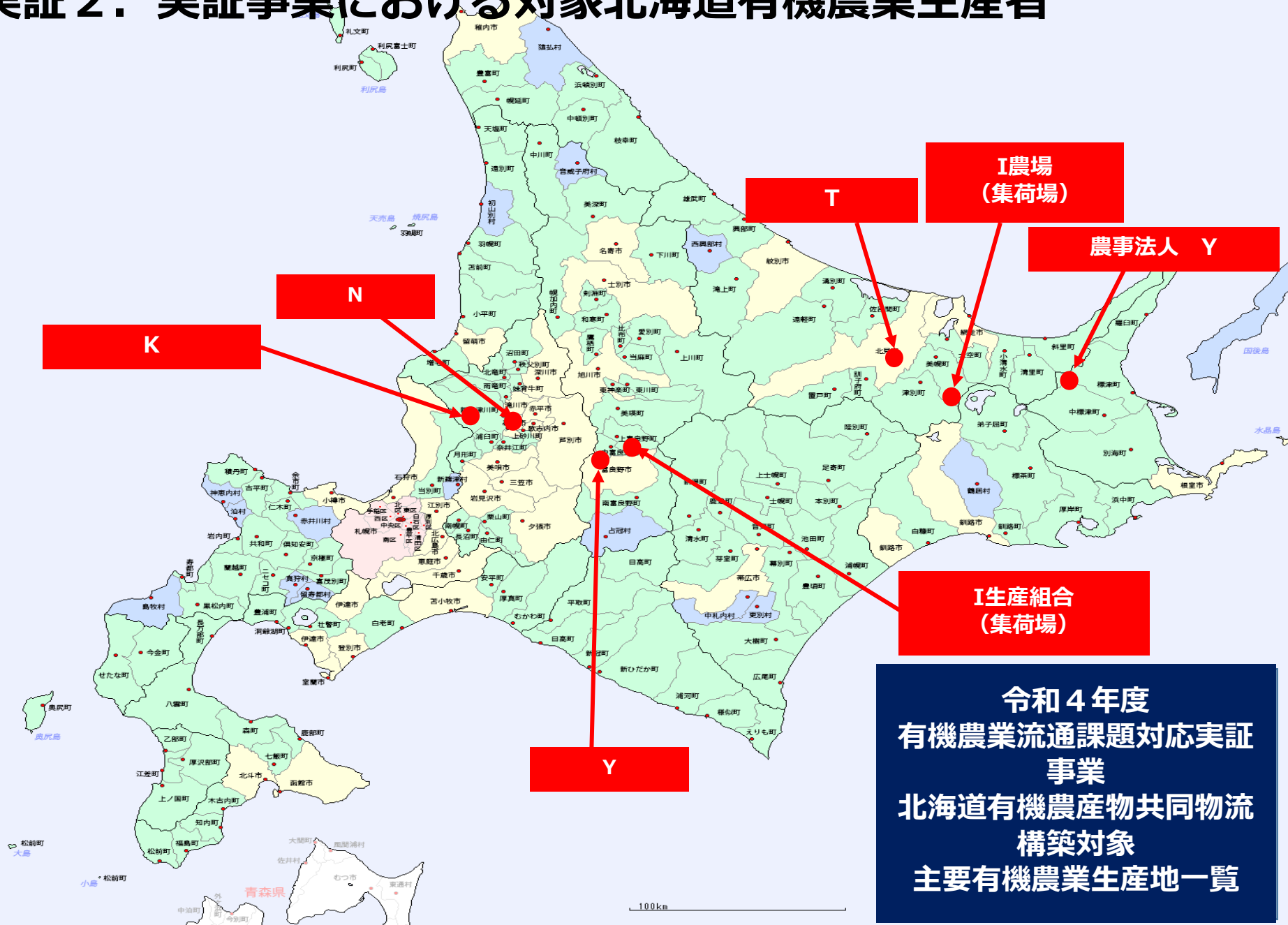
【現状】



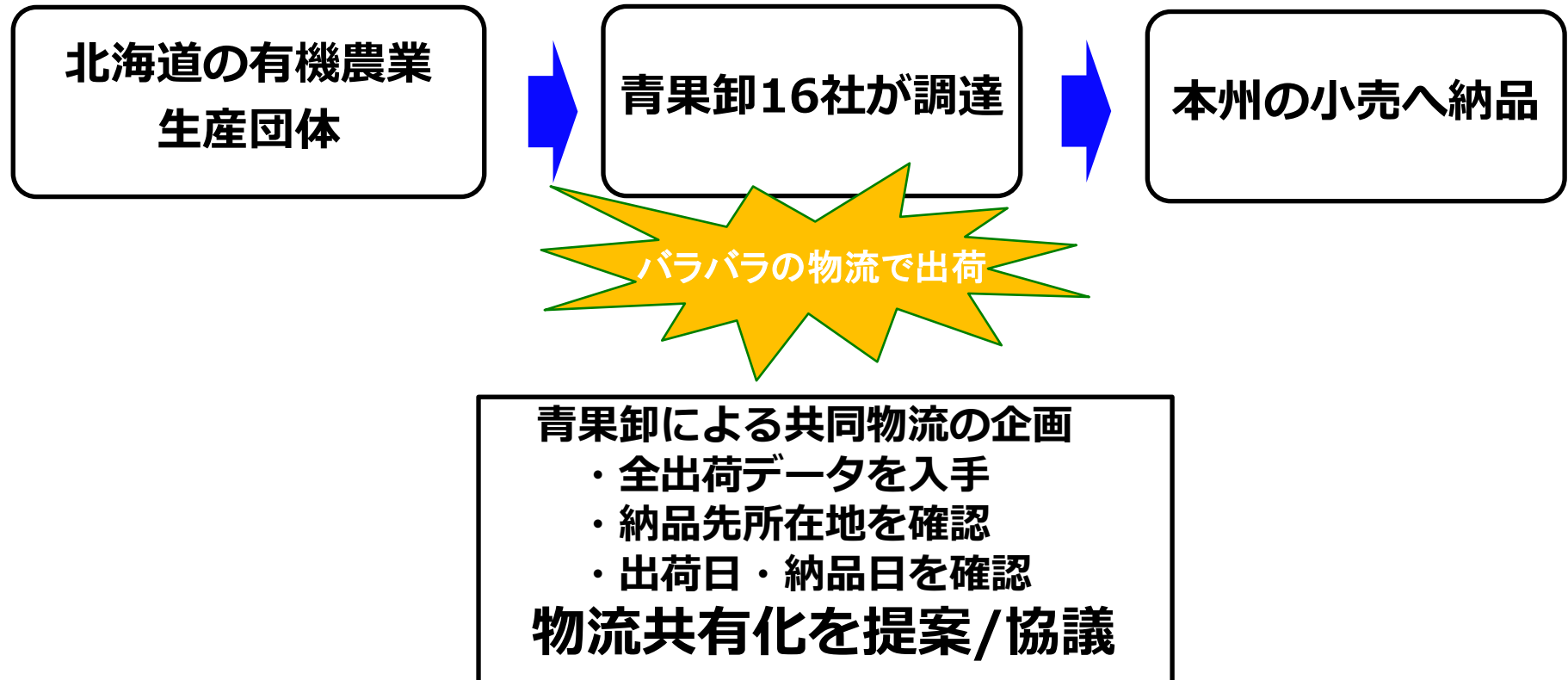
【実証】



実証 2. 実証事業における対象北海道有機農業生産者

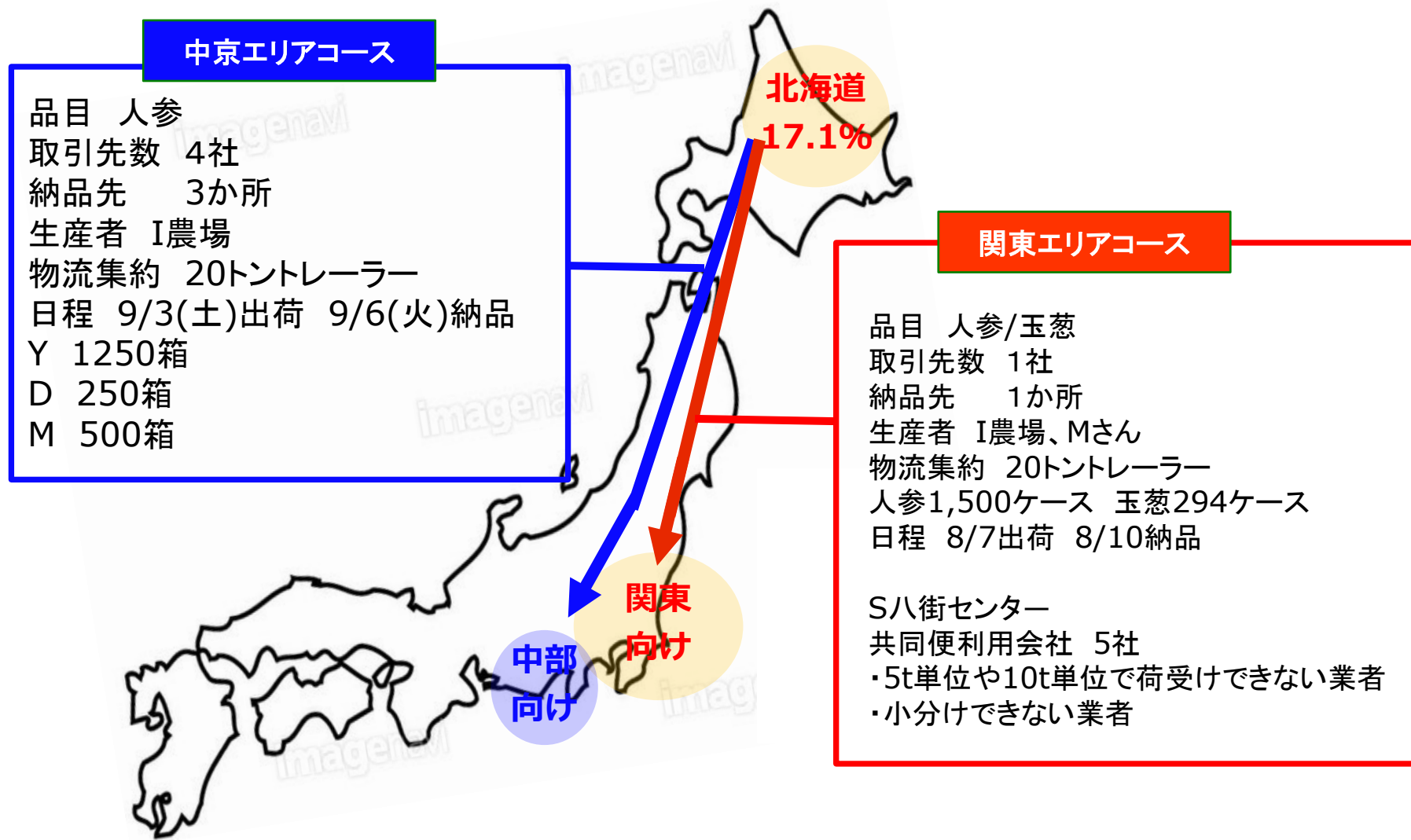


北海道有機生産団体の出荷先情報入手し物流情報をまとめた



「競争は商品で、物流は共同で」

仕入側事業者間の共同物流協議の結果、
中京エリア3社、関東1社の共同物流を実施した。

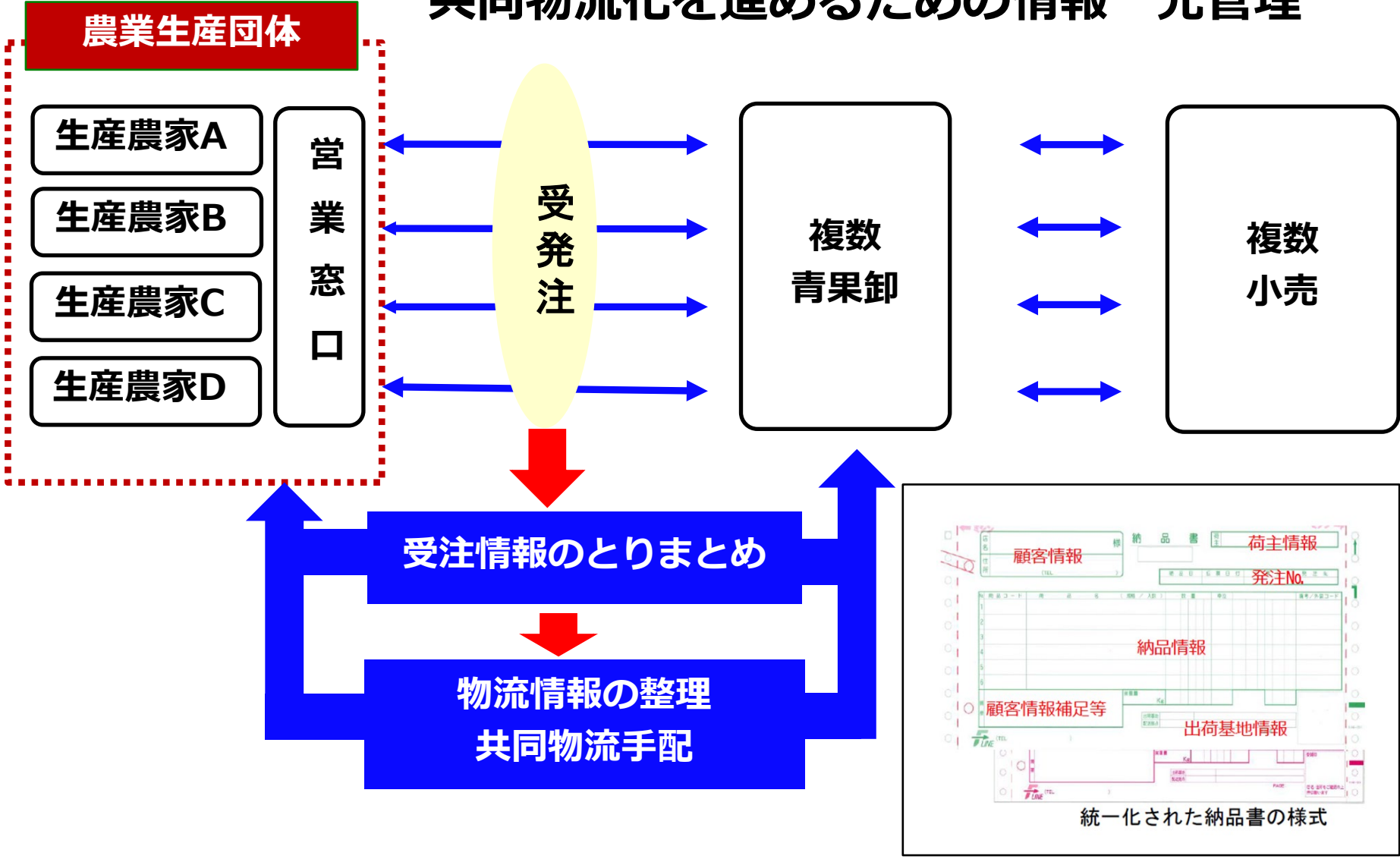


令和4年度の2か所（北海道/島根）の実証事業評価

実証内容	コスト (¥/ケース当り運賃)		対宅配便 比較	今後の対応
	従来	実証便		
北海道大型単品輸送の効率化				
北海道美幌市→八街市便	914円	220円	24.1%	常態化に向けた 安定運用の体制 構築
北海道美幌市→一宮市便	1,148円	240円	20.9%	
島根県首都圏向け輸送効率化	1,800円	2,020円	112.2%	利用事業者を増やし 積載効率を上げ運賃 を下げていく

* 今後、常態化に向けて「安定物量の確保」「取引の継続性」を確認し、取引として継続できる物流化を進めていく。

共同物流化を進めるための情報一元管理



事業者のルート検索システムの試作品を開発しデータベースの運用試験を実施

メイン画面について

画面イメージは、「乗り換え検索」です。

有機農産物 物流検索システム

出発地点

納品先

詳しい検索条件を追加する

出発地点と納品先は必須項目です。

レ点をつけると、検索条件が有効化します。

詳しい検索条件を追加する

経由地【選択1】 広島五日市

経由地【選択2】

経由地【選択3】

出荷頻度 月火水木金

輸送温度 冷蔵

積載状況 余裕あり

検索

物流の見える化のための
検索システムの開発

データベースから物流ルートが検索できる

No.	出発起点①	出発起点②	出発時間	経由地①	経由地②	経由地③	納品先①	納品先②	出荷頻度	輸送温度	積載状況	問い合わせ先
	島根県	浜田市	10:00	広島五日市	大阪府高槻		埼玉県	戸田センター	火金	冷蔵	余裕あり	戸田センター (TEL*****)
	島根県	浜田市	10:00	広島五日市	大阪府摂津		埼玉県	戸田センター	水金	冷蔵	満載	戸田センター (TEL*****)
	島根県	浜田市	13:00	広島五日市	大阪府門真		埼玉県	戸田センター	不定期	冷蔵	満載	戸田センター (TEL*****)
	島根県	浜田市	16:00	広島五日市	大阪府門真	ラミックス本厚木	埼玉県	戸田センター	不定期	冷蔵	要相談	戸田センター (TEL*****)
	島根県	浜田市	10:00	大阪府門真	ラミックス本厚木	埼玉三郷センター	埼玉県	戸田センター	月水金	冷蔵	要相談	ラミックス本厚木 (TEL*****)
	島根県	浜田市	10:00	大阪府門真	ラミックス本厚木		埼玉県	戸田センター	月水金	冷蔵	余裕あり	ラミックス本厚木 (TEL*****)
	島根県	浜田市	10:00	大阪府門真	ラミックス本厚木		千葉県	千葉習志野センター	月水金	冷蔵	余裕あり	ラミックス本厚木 (TEL*****)
	島根県	浜田市	10:00	大阪府門真	ラミックス本厚木		千葉県	千葉菜の花センター	月水金	冷蔵	余裕あり	ラミックス本厚木 (TEL*****)

データベースのイメージ

No.	出発起点①	出発起点②	出発時間	経由地①	経由地②	経由地③	納品先①	納品先②	出荷頻度	輸送温度	積載状況	問い合わせ先
	島根県	浜田市	10:00	広島五日市	大阪府高槻		埼玉県	戸田センター	火金	冷蔵	余裕あり	戸田センター (TEL*****)
	島根県	浜田市	10:00	広島五日市	大阪府摂津		埼玉県	戸田センター	水金	冷蔵	満載	戸田センター (TEL*****)
	島根県	浜田市	13:00	広島五日市	大阪府門真		埼玉県	戸田センター	不定期	冷蔵	満載	戸田センター (TEL*****)
	島根県	浜田市	16:00	広島五日市	大阪府門真	ラミックス本厚木	埼玉県	戸田センター	不定期	冷蔵	要相談	戸田センター (TEL*****)
	島根県	浜田市	10:00	大阪府門真	ラミックス本厚木	埼玉三郷センター	埼玉県	戸田センター	月水金	冷蔵	要相談	ラミックス本厚木 (TEL*****)
	島根県	浜田市	10:00	大阪府門真	ラミックス本厚木		埼玉県	戸田センター	月水金	冷蔵	余裕あり	ラミックス本厚木 (TEL*****)
	島根県	浜田市	10:00	大阪府門真	ラミックス本厚木		千葉県	千葉習志野センター	月水金	冷蔵	余裕あり	ラミックス本厚木 (TEL*****)
	島根県	浜田市	10:00	大阪府門真	ラミックス本厚木		千葉県	千葉菜の花センター	月水金	冷蔵	余裕あり	ラミックス本厚木 (TEL*****)
	島根県	浜田市	11:00	大阪府摂津	ラミックス本厚木		千葉県	千葉習志野センター	月火水木金	冷蔵	満載	ラミックス本厚木 (TEL*****)
	島根県	浜田市	11:00	大阪府摂津	ラミックス本厚木		神奈川県	風水センター	月水金	冷蔵	満載	ラミックス本厚木 (TEL*****)
	島根県	浜田市	11:00	大阪府摂津	ラミックス本厚木		神奈川県	戸田センター	月水金	冷蔵	余裕あり	ラミックス本厚木 (TEL*****)
	島根県	浜田市	11:00	大阪府摂津	ラミックス本厚木		神奈川県	戸田センター	月水金	冷蔵	余裕あり	ラミックス本厚木 (TEL*****)
	島根県	江津市	12:00	出雲間口ロジ	埼玉ラミックス	埼玉三郷センター	埼玉県	戸田センター	月水金	冷蔵	余裕あり	戸田センター (TEL*****)
	島根県	江津市	12:00	出雲間口ロジ	埼玉ラミックス		埼玉県	戸田センター	月水金	冷蔵	要相談	戸田センター (TEL*****)
	島根県	江津市	12:00	出雲間口ロジ	埼玉ラミックス	ラミックス本厚木	千葉県	千葉習志野センター	月水金	冷蔵	要相談	ラミックス本厚木 (TEL*****)
	島根県	江津市	12:00	出雲間口ロジ	埼玉ラミックス	ラミックス本厚木	千葉県	千葉習志野センター	月水金	冷蔵	余裕あり	ラミックス本厚木 (TEL*****)
	島根県	江津市	15:00	広島五日市			千葉県	千葉習志野センター	月水金	冷蔵	余裕あり	戸田センター (TEL*****)
	島根県	江津市	15:00	広島五日市			千葉県	千葉菜の花センター	月水金	冷蔵	余裕あり	戸田センター (TEL*****)
	島根県	江津市	15:00	広島五日市			千葉県	フォーオールライン	月水金	冷蔵	余裕あり	戸田センター (TEL*****)
	島根県	出雲市	15:00	広島五日市	大阪府摂津		神奈川県	ラミックス本厚木	月水金	冷蔵	満載	戸田センター (TEL*****)
	島根県	出雲市	15:00	大阪府高槻	ラミックス本厚木		埼玉県	戸田センター	月水金	冷蔵	満載	ラミックス本厚木 (TEL*****)
	島根県	出雲市	11:00	大阪府高槻			埼玉県	戸田センター	月水金	冷蔵	満載	戸田センター (TEL*****)
	島根県	出雲市	8:00	大阪府高槻	埼玉ラミックス		埼玉県	戸田センター	月水金	冷蔵	余裕あり	戸田センター (TEL*****)
	島根県	出雲市	8:00	大阪府高槻			埼玉県	戸田センター	月水金	冷蔵	余裕あり	戸田センター (TEL*****)
	島根県	益田市	10:00	ファーマインド広島	ファーマインド名古屋		神奈川県	ファーマインド川崎	月水金	冷蔵	余裕あり	ファーマインド (*****)
	島根県	益田市	10:00	ファーマインド広島	ファーマインド川崎		東京都	ファーマインド青海	月水金	冷蔵	余裕あり	ファーマインド (*****)

- データベースに登録できるのは「生産者」「事業者（条件付き）」になります。
- 登録者にパスワードを配布します。
- 生産者/荷主は自社の商品の物流情報を登録します。改廃も生産者が行います。
- データベースから「検索画面」により物流情報が公開されます。
- 新たな運送を検索し最右列の問い合わせ先に連絡をとり詳細を確認するためのプログラムです

有機農産物の取扱い事業者の検索機能提供

日本有機農産物協会として取引事業者(卸売業者・JA・集荷業者)が有機農産物の調達を効率よく行うための物流/取引事業者の検索システムの提供を企画中

操作説明資料

有機農産物の産地カレンダーと連動し、商品の物流取扱い事業者を検索できるサイトを業界内で活用することを検討

有機農産物取扱業者 検索システム (動作確認用)

■作物選択 (選択したらEnterを押してください。)

①

- 有機じゃがいも
- 有機たまねぎ
- 有機にんじん
- 有機がぼちゃ
- 有機しょうが
- 有機ながいも

■期間選択

②

3月 ~ 6月

(現在選択中の野菜)

③

・有機さつまいも、・有機かぶ、・有機トマト

検索実行

作物名	産地	流通時期 (開始目安)	流通時期 (終了目安)	認証	取扱業者	URL
1 有機トマト	熊本県	11月	3月	有機JAS	日本有機農産物協会	
2 有機トマト	佐賀県	11月	3月	有機JAS	日本有機農産物協会	
3 有機さつまいも	宮崎県	12月	3月	有機JAS	日本有機農産物協会	

2023年3月10日(金)有機農産物物流効率化報告会 開催

令和4年度有機農業推進総合対策のうち有機農産物安定供給体制構築事業
(産地間・自治体間連携支援事業のうち流通技術課題対応実証及び自治体ネットワーク連携活動支援事業)
官民円卓会議有機部会物流効率化事業を含む

有機農産物 物流効率化報告会

新たな 有機農産物物流の かたち

2023年 **3/10** 金
15:00~17:00

無料
事前予約制
オンライン開催

1	今期の実証事業方針と概要 講師 日本有機農産物協会 副代表理事(イーサポートリンク株式会社 取締役) 深津弘行
2	有機農産物の卸市場を使った物流効率化施策 講師 株式会社大治 代表取締役社長 本多諭
3	有機農産物の地産地消集荷物流の事例 講師 株式会社やがて 代表取締役 黒瀬啓介
4	北海道有機農産物の共同物流事例 講師 日本有機農産物協会 副代表理事 野中誠二
5	有機農産物の自治体単位による効率化物流構築 講師 茨城県営業戦略部販売流通課(販売戦略担当)係長 杉山健介

本実証事業の成果を普及させる為、報告会をWeb会議として開催した。合計174名:144団体が参加した。とくに自治体が41と多く、自治体ネットワークとの連携がとれた報告会となった。

業態	参加数	構成比
自治体	42	29.2%
事業者	33	22.9%
農政局	17	11.8%
団体	9	6.3%
生産者	7	4.9%
農協	4	2.8%
その他	32	22.2%
合計	144	100.0%

自治体分類	参加数	有機農業取組	有機農業取組率
県/道	15	15	100.0%
市	24	20	83.3%
町	3	3	100.0%
合計	42	38	90.5%

日本有機農産物協会について



有機農産物の流通においては、会員制宅配・専門店に加えて、量販店の取扱いが増えています。一方、流通拡大には課題が多く大きく広がりにくいという状況にあります。

その要因の一つである物流や生産に関わる課題を解決すべく有機農産物の流通事業関係者が集まり

「日本有機農産物協会」を設立しました。

協会設立の目的・活動内容

1. 有機農産物の生産・流通の課題と改善のための研究活動
2. ロジスティック・シェアリングの仕組構築とその実用
3. オーガニック業界の規格・標準化による業界全体の効率化の実現
4. 市場規模の把握
5. 有機農業の運営サポート

【正会員】

一般社団法人 MOA 自然農法文化事業団
株式会社エム・オー・エー商事
オイシックス・ラ・大地株式会社
株式会社コープ有機
株式会社シェアガーデンホールディングス
株式会社自然農法販売協同機構
株式会社ビオ・マーケット
株式会社マイファーム
株式会社マルタ
ムソー株式会社
有限会社やさか共同農場
有機農業事業協同組合
株式会社ライフコーポレーション
パルシステム生活協同組合連合会
NPO法人 日本オーガニックアンドナチュラルフーズ協会
株式会社京都ベジラボ
株式会社ラミックス
株式会社オーガニックフーズ普及協会
株式会社大治
株式会社Makicom
株式会社日本経済社
サンエッジ株式会社
株式会社サンコー
株式会社すいてん
株式会社ビオスタイル
東都生活協同組合
プレマ株式会社
株式会社エスペラントシステム

【特別会員】

島根県農林水産部産地支援課
京都府亀岡市産業観光部農林振興課

(敬称略)